



第 38 号

編集発行所 〒990-2492 山形市鉄砲町一丁目15-64 山形県立山形西高等学校 嬰鳴同窓会 電話 023-641-3504



磐石な基盤づくりに 学年の絆と輪を

会長 武田 美津子 (昭和39年卒)

『復興元年』の年を迎えました。進まない復興に苛立ち「私に出来ることは？」という想いを抱いております。

さて、私達三役は、同窓会活動への提言に応えてきたと自負しております。評議員・

幹事の皆様の協力があつてのことと感謝いたし、新たな気持ちで2期目を迎えました。

残された課題は、将来を見据え、若い世代と繋がる同窓会のあり方を模索していくことです。就職や結婚により県外へ居住地が変わり、同学年の絆が途絶えてしまいがちになっていく現状にあり、将来が危惧されます。評議員が出ていない学年からは、同窓会の情報や活動の動向が判らな

いという声が出されました。

そのことが、総会当番学年の組織づくりを困難にするという事態を招くことにもなりま

すので、全学年から評議員を選出することにしました。

評議員は、クラス幹事と連携して、学年の輪を広げ、同

期生の絆を親密にすることがとても大切だという想いを強くしています。同級生は、人生の節目の年に、懐かしい友との交流や同期会、恩師との繋がりを太くするなど、喜寿を迎えるまでの「まとめ役」を担っていただきたいと期待しています。「繋がる学年の輪」が同窓会の縦軸を支えてくれることとなります。

嬰鳴同窓会の募金活動は、

8月の幹事会で、支援活動を求める動議が出され、三役の背中を押してくれたという経緯がありました。

総会で20万円を超える募金が集まりましたので、同窓会会員の総意として基本金から30万円を拠出し、合わせて51

万1,027円を山形新聞、山形放送、愛の事業団に寄託いたしました。打てば響く嬰鳴

精神と嬰鳴同窓会の底力・篤い想いに動かされました。会員の皆様の支えが何よりの力となりますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。



思いやりと志を持って 山形が大好きな西高生を育てる

校長 阿部 和久

嬰鳴同窓会の皆様には日頃から母校に対して多大なるご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

山形県では吉村美栄子知事が掲げる人材育成重視の方針の下、平成24年度から「山形の未来をリードする人材育成事業」をスタートさせました。本校も含めた県内の進学校9校が「進学指導重点校」の指定を受け、新たな取り組みに着手したところです。

本校では「思いやりと志を持って山形が大好きな西高生を育てる」をスローガンとし、次のような教育を行って、新たな時代を生きる西高生を育て、地球の未来に向かって突

てることとしました。

○怒の教育

他人の立場に立って考えることのできる知的同情心を持つた生徒の育成

○志の教育

自分の夢を追うことが何らかの形で社会貢献につながるように目指す生徒の育成

○郷土愛を育む教育

山形にいても山形を離れても常に郷土への愛を抱き続ける生徒の育成

朋友師弟の睦まじい集いの心と切磋琢磨を象徴する嬰鳴

精神を全ての教育活動の基盤とし、西高の未来、山形の未来、地球の未来に向かって突

き進んでいく覚悟です。

*

朝早くから勉強する西高生がいます。暗くなるまで汗を流す西高生がいます。生徒会や文化活動に頑張る西高生が

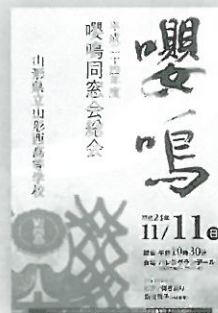
います。そして石巻のボランティアに向かう西高生がいます。そこではいつも、真剣な

眼差しとはじける笑顔の両方を見ることができます。

皆さんが経験したと同じ青春のひとときをこの西高で過ごすことのできる幸せ。日々

それを感じながら、生徒たちも先生たちも「全力主義」で毎日を疾走しています。

Seize the day!



平成24年度 総会のお知らせ

大勢の方のご参加をお待ちしています。

- と き 11月11日(日) 午前10時30分開会
- と ころ パレスグランデール (山形市鉄砲町一丁目17-40)
- 会 費 5,000円
- アトラクション ピアノ弾き語り 斯波 景子(平成4年卒)
- チケット購入のお問合せ TEL 080-5228-3825 (同窓会総会当番学年/チケット担当)



嚶鳴の強い絆の下に

（平成23年度 嚶鳴同窓会総会）

平成23年11月20日（日）、パレスグラウンデルに於いて嚶鳴同窓会総会が行われました。当日は、総勢600名の皆様にご出席いただきました。

総会は武田美津子会長、神保潔校長先生のご挨拶で始まり、議事は佐々木智子副会長のご進行の下、厳正に滞りなく進められました。

引き続き行われた祝賀式典では、吉村美栄子山形県知事から、東日本大震災後の県行政を中心に、ご公務の様子についてお話いただきました。

恩師代表の荒木務先生からは、当番学年が在学の頃の楽しい思い出をお話いただきました。当時と変わらない力強いお姿と声に、なつかしい気持ちで溢れてきました。東京支部の笠井ひで子支部長からは、東京支部の活動のご様子をお話いただきました。

この度祝賀を受けられた方は、米寿17名、喜寿49名の皆様でした。代表して、米寿の武田マサエ様から、戦時下で

ご苦労があった中でも、精いっぱい学業やスポーツに励まれたご様子をお話いただきました。

喜寿代表の菅野節子様からは戦後の学制改革の中、南高等学校の生徒として意欲的に学校生活を送られたご様子をお話いただきました。

奥山武元校長先生のご発声による乾杯で祝宴となりました。嚶鳴合唱団とチェリストの増川大輔さんによる美しい演奏もながれ、各卓とも歓談が弾まれたご様子でした。

今年のアトラクションは、昭和48年卒、女優の「渡辺えり」さんによる、歌とお話でした。忙しい合間をぬつての出演の様子、後日、山形新聞の記事で目にした方もいらつしやうと思いま

す。自分の歩みを語りかける姿に、同学年として心が熱くなる思いがいたしました。

歌声の余韻が残る中、総会の最後に、嚶鳴合唱団のリードにより全員で校歌を歌いました。今回は、喜寿の皆様のご希望により、南高等学校の校歌も入れ3曲を歌いました。

また、会場では、幹事会での提案に基づき、東日本大震災への募金も行われ、たくさんのご協力をいただきました。震災の影響で、例年のような同窓会が開催できるの心配しましたが、皆様のご支援ご協力により、盛大に総会を終えることができました。心より御礼申し上げます。



女優 渡辺えりさん(昭和48年卒)のアトラクション (昭和48年卒 中山 恭子)

寿に喜せて 学制改革の中に あった私たち

昭和28年卒「ふたば会」 菅野 節子

昭和16年小学校に入学したその年に、国民学校になりました。

昭和22年5月に新制中学校が発足し、初の1年生となりました。戦後民主教育の始まりでした。昭和25年高校受験の年、またも高校統合の動きが出て1月未正式な話があり、4月には新制高校の入学式でした。

二高と四高が統合して南高となりました。その間3月には受験もあり、女学校に男子を受け入れるのにも、男子トイレの急造など、全てが大難儀極まりなかったことでしょう。敗戦の物資のない状態の中での調達の苦悩、学制改革当時の山本林校長のご苦労が偲ばれます。新制山形南高校の校長は杉浦文助先生で、温厚な教育者でした。校長は両校舎を兼務され、月水金は東校舎、火木土は西校舎と自転車で行き来されておりました。

1年生のみがとりあえず男女共学でした。珍しがって上級生が覗きに来たり、可愛い男子生徒に手紙を頼まれた人もいたようです。2つの校舎は3キロ離れており、放課後の部活は一緒、はや足で移動

したのを思い出します。自転車など持っている生徒はいませんでした。

以下、当時の特徴的な事をご紹介します。

○自治活動が花開いた時代、学級対抗の演劇コンクールなど、アルトハイデルベルグなど。

○よく討論会がもたれた。男女共学は是非か非か/制服は是非か非か/パーバリズムは等

○山形学生音楽連盟を作り、戦後初めての文化的行事を企画

山形1小体操場でテノール歌手、木下保氏を招き、シューベルトの『冬の旅』24全曲を歌う会を学生の力で成功させた。

○27年には国体が開かれ、今は無くなった霞城公園の中の、かまぼこ形の体育館に昭和天皇をお迎えして初めて象徴天皇を拜んだ。補助員としてブラカードを持っていた。またTVはありませんでした。

長い歴史の中で、わずか4年間でこの統合は終わりました。

激動の中を生き抜いて、今私たちは元気に生き続けていることに感謝します。

このたびの嚶鳴同窓会総会には49名が晴れの賀寿の席にお招きいただきました。有り難うございます。また、関係各位の計らいで、山形南高校歌を歌わせていただくことが出来、心から感謝致します。

総会後、天童温泉の「ほほえみの宿 滝の湯」で泊まりの「ふたば会」が行われました。共に学び、共に時代を生きてきた友との一夜は、元気をいただく格別なものとなりました。



「ふたば会」喜寿記念（前列中央が菅野さん）



集い、語らい、嚶鳴の想いを繋ぐ

嚶鳴同窓会東京支部 <http://www.oumei.jp>

6月3日(日)、ホテルオークラにて平成24年度嚶鳴同窓会東京支部総会が開催されました。新卒生25名を迎え、309名ものご出席をいただきました。来賓祝辞では恩師の田口健一先生、武田美津子同窓会長よりご挨拶を頂戴し、恩師の田口先生は進学指導や支部活動に奮闘された在職当時の思い出を、朗らかで温かいお人柄がにじみ語り口でお話くださいました。続く懇親会は神保潔前校長ご発声の乾杯で始まり、阿部和久校長が現役西高生の活躍ぶりを印象深く語られ、会場を大いに沸かせてくださいました。



田口健一先生（前列左から3人目）を囲んで

せてくださいました。エンターテインメントでは作家・エッセイストの五十嵐佳子様(昭和50年卒)に、日々の想いを綴る効用や文章を書くときのコツ、内面を見つめ前向きに生きるヒントなどをご伝授いただきました。来年の大河ドラマ「八重の桜」小説版もご執筆予定とのこと。益々のご活躍が期待されます。また、東京嚶鳴女声合唱団の歌声には、大正から昭和の香りが漂い、懐かしさを潤ませる会員の姿も見られました。

支部会員の増加目指して

嚶鳴同窓会寒河江支部

東日本大震災の影響で延期していた寒河江支部総会を、平成23年の10月16日に開く事が出来ました。参加者は例年より少ない28名でしたが、和やかな楽しい総会となりました。議事の後のアトラクションには、寒河江市在住の渡辺雅一さんに講演をお願いしました。渡辺さんは「刑務官」の仕事で早期退職され、地元慈恩寺地区で、耕作放棄地を利用したニンニク栽培に情熱を注いでおられる方です。



左から2人目が渡辺雅一さん

渡辺さんは時効になったから話せる事として、普段私達が聴く機会のない刑務官の仕事の「コマ」なども織り混ぜながら、興味深いお話をして下さいました。また、歌ったり、紙芝居を見たりと食事を挟んでの楽しい会となりました。会場では東日本大震災への募金箱を設け、被災者への心を寄せ合いました。善意の募金5万円は後日、山形新聞寒河江支社に届けました。2年後の次期総会までに会員増加を図り、

「嚶鳴の心」を一被災された方々へ



同窓会総会の会場で募金

昨年3月11日、東北・関東の各地を襲った東日本大震災。未曾有の甚大な被害をもたらしたこの震災で被災された方々を支援したいと、嚶鳴同窓会では11月20日に開催された平成23年度総会の会場で募金を行い、20万円を超える善意が寄せられました。

この募金に同窓会の基本金から30万円を加え、合計50万1,027円の義援金を、11月29日に武田美津子会長、佐々木智子・清野和子両副会長が山形市の山形メディア

アタワを訪問し、山形新聞、山形放送、愛の事業団に寄託。皆様の善意を手渡し、その模様が翌日の山形新聞紙上で紹介されました。被災者のために何かしたい、少しでも助けになれば...そうした思いやりあふれる「嚶鳴の心」は、きっと被災された方々に届いたことでしょう。

「日本大震災」義援金

山形新聞、山形放送、愛の事業団に寄託。皆様の善意を手渡し、その模様が翌日の山形新聞紙上で紹介されました。被災者のために少しでも助けになれば、と話し

東日本大震災の被災者を支援するため、山形新聞、山形放送、愛の事業団が受け付けている義援金は29日、約20万円が寄せられた。累計は2031件、総額約9億1060万円となった。



山形新聞 (平成23年11月30日付)

Information お知らせ

- ★五十嵐佳子さん(昭和50年卒)が『つや姫 10万分の1の米』(角川フォレスト)を出版されました。
- ★山口トキコさん(昭和55年卒)が『女医が教えるおしりの本』(TBSサービス)を出版されました。
- ★『相撲力 横綱、大関が巣立った土俵』濱村敏之文章/武田葉月(武田郁さん・昭和60年卒)が出版されました。(庭野企画プロモーション)
- ★泥釉七宝を現代に甦らせた日本工芸会正会員の故上沼緋佐子さん(昭和46年卒・平成24年5月16日没)の作品が、東京銀座「はせがわ本店」で常設展示されています。





天童駅の西側、閑静な住宅街にある喫茶店『麦ひとつぶ』は、阿部浩一先生が定年退職後に開店された「読書室のあるカフェ」。6月半ば、このお店に阿部先生をお訪ねしました。

ゆったりと落ち着いた雰囲気、笑顔で迎えてくださった阿部先生はエプロン姿がよくお似合いで、すっかり店主らしい様子。意外な「転身」に驚いていると、その理由をこう話してくださいました。

「ずっと学校中心の生活でしたが、50歳を過ぎて、退職後の人生を考えるようになりました。女性は定年後もネットワークがあつて元氣ですが、男性は仕事を離れると付き合いが限られてしまいます。それで、男同士も気兼ねなく集まって過ごせる場所をつくれれば…と思うようになったんです」

そうした漠然とした思いが、次第に「喫茶店」という具体的な夢に。奥様の直子さん（昭和42年西高卒・旧姓熊沢）は、当初は喫茶店に反対だったものの、お店の名前を『麦ひとつぶ』にしたいと話すと賛成してくれ、平成20年の11月に開店されたといひます。

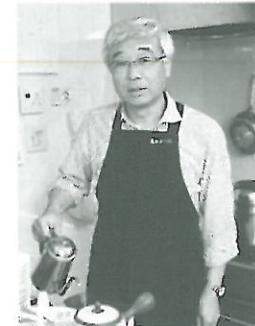
「新約聖書にあるキリストの

言葉「一粒の麦もし地に落ちて死なずば」から付けた名前です。妻はクリスチャンなので、この名前から、ささやかでも世の中の役に立てれば…という私の思いを理解してくれたのでしよう。いろいろな形で協力してくれ、妻には感謝しています」

先生 よえんぐさか

『麦ひとつぶ』店主として、
第二の人生を歩む

阿部 浩一 先生
平成11年・平成15年在職



阿部先生は、国語がご専門だ

けに蔵書家で、お店には読書室でも本好きな人に自由に読んでもらいたいとつくったスペースでしたが、お客様の要望でコンサートや人形展、朗読の会など、さまざまな集いの場所にもなっています。

また、お店には西高時代の教え子たちも来て、近況を報告してくれるとのこと。「高校時代か

ら将来の夢をもって、着実に歩んでいる子が多く素晴らしいですね。同級会を開く時のために、店のノートに連絡先を書いていくんですよ」とうれしそうに話される阿部先生。

初めての女子高勤務だった西高は思い出多い5年間で、とくに修学旅行は「教員生活の中で最高だった」と振り返ります。

「奈良・京都へ4泊5日の旅行で、薬師寺をはじめ熱心に見学するので、連れて行つたかいがありません。そして、毎晩、全員が俳句をつくって短冊に書き、旅館のロビーにいい作品を展示するんです。どんどん上手になるのがわかりましたね」

当時の生徒からは「あべこウ」と呼ばれていたそうで、卒業アルバムと一緒に見せてくださった寄せ書きにも「心のオアシスあべこウに感謝」と大きく書か

れ、「哀愁漂う阿部ワールドにひきこまれました」「先生の授業で古典にますます興味をもつようになりました」「進路で迷っているとき声をかけてくださり、とてもうれしかったです」「サンタ姿はステキでした。一生忘れません」などの言葉が。生徒たちとのあたたかい交流が伝わってきました。

こうして高校生活を謳歌する

生徒がほとんどでしたが、中には学校になじめず不登校になる生徒も。阿部先生は学年主任、保健主事として、先生方や両親と連携し、生徒が学校に戻れるよう力を尽くされました。

しかし、この生徒思いの阿部先生にも一つ後悔があり、それは「生徒に男女交際を勧めなかつたこと」とか。現在、婚活

のお手伝いもされている経験から、「高校時代から異性と知り合う機会をもつて、人生経験の幅を広げてほしい」と願う阿部先生ならではの言葉でしょう。その眼差しには、先生として、また人生の先輩として、いまも西高生を見守ってくださる優しさがあふれていらつしました。

（訪問者

昭和36年卒 長岡 玲子
昭和51年卒 田中 裕子



壁一面に本が並ぶ読書室

道木並

昭和57年卒 富 樫 由美子
「詠じる茂吉秀歌を筆始」

嚶鳴の大先輩であった祖母（古澤せい）昭和3年・高女卒は、祖父が亡くなってから、73歳で俳句を始め、88歳の時に句集を出版した。

五男の大学入学後、50代から始めた書道も日展に入選し、その作品は、西高の校長室に寄贈されていた。

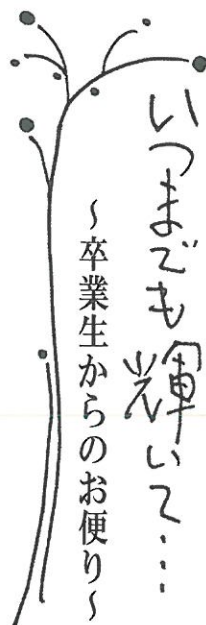
以前、会報委員の私に「卒業生の『いつまでも輝いて』のコーナーは、キャリア・ウーマンが多いけれど貴方のおばあさまは、弁護士の方を支え、5人の息子を育て上げた主婦の代表ですし、90歳過ぎて、お元気でいらつしやるから、是非に書いてもらえないかしら」と話をいただいたが、祖母は「この歳になって表舞台は、ご遠慮します。お若い方にお願ひします」と固辞したことを思い出す。

初孫である私は、まるで娘のように、このほか祖母に可愛がってもらった。また、高校合格の時、一番喜んでくれたのは、西高を愛する祖母だったように思う。

読書家の祖母は、晩年まで、自宅近くの遊学館を自分の書庫代わりに利用し、より世界を広げていった。

そして、最後に残してくれた言葉は『気は長く、心は丸く、人を大きく、己れ小さく』であった。嚶鳴精神そのもののように生き抜いてきた祖母から、私は、数えきれない教えをもらった。凜として、向学心に溢れるその姿は、いつまでも輝きに満ちていたと思う。

西高の門をくぐる度、大好きな祖母を思い出す。



私学での生涯の心の拠り所作り

昭和54年卒 山本絵里子

西高とは、すっかりご無沙汰しています。母校に帰る必要がない理由の一つは、数名の恩師が退官して山本学園高校にお勤めをいただいたからかもしれません。ほとんど私共も退職されましたが、何かにつけ可愛がって下さいました。元より我家の仕事が、設計と私学経営であったため、私

をしていく自信となりました。残念ながら、仕事で身体を壊し、実家に戻り、今の職についております。

現在は、学園内の保育園、竹田幼稚園、専門学校山形Vカレッジ等で指導しており、また、竹田和裁研究所で、和裁の営業で全国飛び回っております。卒園児たち、専門学校卒業生にも西高卒が数多くいます。お蔭様でゼロ歳から幼稚園、専門学校、職業訓練(職業人)の分野に至る、様々な市、県、全国、文部科学省の委員等を拝命しております。必ず、皆に「努力を惜しまず、挫折をして乗り越えるこ



後列中央が山本さん

と、そのご褒美が、喜びを手にし、人によさしくなれる」と伝えていきます。さらに、私学の一番の良さである、いつでも、一生涯戻ってこられる心の拠り所作りをしています。

皆様お元気ですか？

平成5年卒 菊池 貴子

嚶鳴同窓会の先輩、後輩、同窓生の皆さん、心と体は元気に過ごされていますか？
私は、西高を卒業後すぐに



英国へ留学しました。英語は勿論、そこで出会ったのは英国人の豊かな生活でした。経済的な豊かさではなく、心の豊かな時間を過ごしていました。特に私の出会った女性たちは、年を重ねた方ほど色鮮やかな洋服に身を包み、優雅にお茶を楽しむ素敵な方々ばかり。その方々から教えられたことの一つに「カレンダーの使い方」があります。一年には春分、夏至、秋分、冬至

そして毎月の新月と満月を意識した生活の仕方を大切にすること。体調の悪い日はカレンダーにメモをする等して、自分の体調を丁寧に見ることを教えていただきました。女性の体は男性と違い、子宮がある分、よりデリケートにいろいろなモノを受け取ります。気持ちのいい場所、会うと元気になる人等、全て無意識に感じ取っています。そのため、ちよつとした自分の身体と心の反応を大切に生活することが必要です。

「本当の自分」と違うなあと感じた時に手助けしてくれるものとして「フラワーエッセンス」を覚えていただきました。約100年程前に英国人医師によって開発され、現在では代替医療の一つになっています。今の自分の状況をより良く変えたい時にそのエッセンスを使い、平日はカウンセリングを、週末はカフェをして過ごしています。特に頑張り過ぎる西高生だった私たちです。どうぞ皆さんが心も体も元気でありますように！



遊び感覚で『論語』の言葉にふれてもらう「ろんごでころ〜ん☆親子カフェ」で

子どもたちが仲間を作り切磋琢磨し、楽しく学んで楽しく遊べる場をめざしています。昼間には大人の方々にも集っていただけるサロンも設け、子どもたちとの交流も生まれればと考えております。今のところ、残念ながらもまだ子どもたちは思うように集まっていませんが、夏休みの企画も考え、これから多くの方々に知っていただくとう活動しているところでです。

『論語』に学びながらコミュニティの場創りをめざして

平成6年卒 佐藤 百恵

月一度の「論語に学ぶ会(山形市千歳館会場)に通い、事務局をするようになり5年以上が経ちました。そこで、大人だけではなく学校帰りの子どもたちが通える学びの場を創ろうという話を持ち上がり、実現に向けて「NPO法人論語に学ぶ会やまがた」を立ち上げることとなり、今年5月末に法人の認証をいただきました。場所は、山形市城西町にある山形県NPO支援センター内です。私たちの場では、平日の夕方、学童保育のような形で小学生に宿題・予習・復習などをしてもらい、その中で『論語』の学びを取り入れます。子どもたちが仲間を作り切磋琢磨し、楽しく学んで楽しく遊べる場をめざしています。

また、仕事帰りの女性が集まる「論語女子会」も開き、月に1〜2回継続していくことになりました。6月に入り、親子論語カフェも行いました。『論語』は堅いイメージですが、より親しみやすい形で老若男女問わず集っていた、という試行錯誤しております。社会には様々な問題が山積しています。何を信じていいのかわからない、そんなことをおっしゃる方も多いかと思えますが、そうした時代だからこそ、自ら考え判断し、行動する力が必要ではないでしょうか。その判断・行動の一つの支えになるものとして、『論語』も大いに役立つものと思います。これから様々な場で活動を広げていきたいと考えています。



地域社会の一員として...

平成23・24年度・西高生ボランティア活動の記録



校友会にて瓦礫撤去のボランティア (3月15日・石巻市)

【校友会】
震災ボランティア
(瓦礫撤去)
3月15日
石巻市 牡鹿半島
54名参加

震災ボランティア
(花桶え、交流会、たき出し)
6月17日
石巻市 仮設住宅
蛇田中央団地
7名参加

【陸上競技部】

山形市障がい者スポーツ大会
10月1日 山形市 20名

かがやき杯フライングデイスク大会
3月11日 山形市 10名

【ソフトボール部】

除雪ボランティア
1〜2月 計4回 山形市 14名

【水泳部】
山形県学童記録大会ボランティ
8月21日 山形市 6名

【サッカー部】

震災ボランティア (瓦礫撤去等)
5月8日 岩沼市 生徒20名 保護者12名

【新聞部】

震災ボランティア (瓦礫撤去)
6月4日、12月3日 石巻市 3名

【演劇部】

東日本大震災義援金
平成23年5月 29、614円

【華道部】

「さくらんぼ学童保育」訪問
12月27日 山形市 4名

【音楽部】

東日本大震災避難所訪問コンサート
4月7日 山形県体育館

5月8日・22日 山形市総合スポーツセンター
山形市立病院済生館ホスピタルコンサート
フロラさいせい訪問コンサート 3月28日

東日本大震災一周忌法要音楽法要 3月17日

【英語部】

保育園訪問(英語の歌を歌しむ保育ボランティア)
12月6日〜8日 山形市 17名

【放送部】

山形市議会報「声の広報」 5月 9名

【JRC愛好会】

あしなが学生募金 10月30日 山形市 8名
歳末助け合い募金 12月20日 山形市 7名

校内募金(NHK海外助け合い)
12月20日〜22日 校内 8名

在校生の活躍 (平成24年7月現在)

平成23年度

<インターハイ(北東北)>

陸上競技部

走り幅跳び 青木 成美

水泳部

50m自由形 西村明香里

硬式テニス部

個人シングルス 相羽枝莉子

<国民体育大会(山口県)>

陸上競技部

走り幅跳び 青木 成美

水泳部

少年女子A400mフリーリレー
西村明香里

<日本ユース選手権大会陸上部>

走り幅跳び 青木 成美 第6位

<日本ジュニア室内陸上大会>

走り幅跳び 青木 成美 第5位

<全国高校なぎなた選抜大会>

なぎなた部 個人試合 佐藤穂乃香

<全国高等学校総合文化祭>

文芸部 松谷 瑞穂

美術部 前田 野亜 尾崎 里帆

放送部 アナウンス部門: 石山 朋実

朗読部門: 三浦 紗彩

平成24年度

<県高校総合体育大会>

卓球部

ダブルスベスト8

遠藤 幸奈・井上 怜奈

柏倉 瑞希・遠藤 萌恵

シングルスベスト16 柏倉 瑞恵

(以上 東北大会出場)

陸上競技部

走り幅跳び 第1位 青木 成美

5000m競歩 第4位 荒木 麻菜

400mH 第6位 舟山 実希

(以上 東北大会出場)

新体操部

団体 第3位

水泳部

800m自由形 第2位 松本さとみ

50m自由形 第5位 吉田美菜子

400m自由形 第5位 松本さとみ

200m自由形 第5位 片桐まどか

400mリレー 第5位

なぎなた部

団体 第3位

個人 演技競技

第3位 酒井 亜実・木村 日和

第3位 元木 冨・佐藤穂乃香

(東北大会出場)

硬式テニス部

団体 第2位

個人ダブルス

第1位 相羽枝莉子・清水 優

(全国大会出場)

個人シングルス

第2位 清水 優

第3位 相羽枝莉子

サッカー部

第3位

<東北高等学校総合体育大会>

陸上競技部

走り幅跳び 第1位 青木 成美

硬式テニス部

団体 ベスト8

個人シングルス ベスト8 清水 優

(全国大会出場)

ベスト16 相羽枝莉子

<山形県放送コンテスト>

アナウンス部門 第2位 石山 朋実

朗読部門 第3位 渡辺 桃香

ラジオドキュメント部門 第3位

嚶鳴同窓会評議員

相澤 榮	顧問	昭和14	高女36	中村 郁	評議員	昭和34	西高5	田中 裕子	評議員	昭和51	西高22
中原えい子	顧問	昭和20	高女42	松尾 尊子	評議員	昭和35	西高6	富樫 京美	評議員	昭和53	西高24
佐藤 伶子	顧問	昭和30	西高1	長岡 玲子	評議員	昭和36	西高7	齊藤 明美	評議員	昭和54	西高25
阿部 和久	学校長			古瀬 孝子	評議員	昭和37	西高8	齋藤 良枝	評議員	昭和55	西高26
武田美津子	会長	昭和39	西高10	小松 節子	評議員	昭和38	西高9	神保 由美	評議員	昭和56	西高27
佐々木智子	副会長	昭和41	西高12	田中 友子	評議員	昭和39	西高10	富樫由美子	評議員	昭和57	西高28
清野 和子	副会長	昭和44	西高15	菅野 ふみ	評議員	昭和40	西高11	須藤 祐子	評議員	昭和58	西高29
笠井ひで子	東京支議	昭和44	西高15	渡辺三枝子	評議員	昭和42	西高13	丹野 文子	評議員	昭和59	西高30
佐藤 暁子	東京支議	昭和34	西高5	鈴木よし子	評議員	昭和43	西高14	會津菜穂子	評議員	昭和60	西高31
菅野 節子	評議員	昭和28	南高3	佐藤 淳子	評議員	昭和45	西高16	桑山久爾子	評議員	昭和61	西高32
平田 洋子	監事	昭和29	南高4	青木 智子	評議員	昭和46	西高17	鈴木 淳子	評議員	昭和62	西高33
渡辺 民子	評議員	昭和30	西高1	奥山 潤子	評議員	昭和47	西高18	武田 靖子	評議員	昭和63	西高34
松浦 英子	評議員	昭和31	西高2	中山 恭子	評議員	昭和48	西高19	武田由利子	評議員	平成元	西高35
片桐ユキ子	評議員	昭和32	西高3	山口 明子	評議員	昭和49	西高20	氏家美由紀	評議員	平成2	西高36
山田 勝子	監事	昭和33	西高4	小笠原悦子	評議員	昭和50	西高21	川田 清子	評議員	平成3	西高37

平成25年度米寿・喜寿のお祝いについて

米寿…昭和18年高女
喜寿…昭和30年山形西高等学校(以上の方は該当学年となります)

嚶鳴同窓会名簿が平成23年9月に発行されました。(一冊4,200円税込)



平成23年度 主行事務報告

- 平成23年
- 4月26日(火) 同窓会会計監査
本校嚶鳴会館事務室
 - 5月10日(火) 第1回評議員会
本校嚶鳴会館食堂
 - 5月23日(月) 嚶鳴三会長副会長会
 - 6月12日(日) 東京支部総会
ホテルオークラ東京
 - 6月22日(水) 創立記念式典・合唱コンクール
県民会館
 - 8月9日(火) 第2回評議員会 本校図書館
第1回クラス幹事会
本校101教室
 - 11月20日(日) 平成23年度同窓会総会
パレスグランデール
 - 12月18日(日) 次年度当番幹事へ引継ぎ会
パレスグランデール
- 平成24年
- 2月29日(水) 同窓会入会式
本校嚶鳴会館和室
 - 3月1日(木) 第58回卒業証書授与式
本校体育館
 - 3月28日(水) 三役引継ぎ会
本校嚶鳴会館事務室

平成23年度 維持会費納入状況 (平成24年7月26日現在・納入者氏名省略)

- ◎平成23年4月1日～平成24年7月26日までに納入されたもの ※178クラス分 534,000円
- ◎平成21年度分
西高 昭和50年 3組
- ◎平成22年度分
西高 昭和40年 1～6組
昭和48年 1～4組
昭和49年 1・3・6組
西高 昭和50年 3組
昭和56年 1～6組
昭和61年 4組
- ◎平成23年度分
南高 昭和29年 1・5組
西高 昭和30年 1～4組
昭和31年 1～4組
昭和32年 1～4組
昭和34年 1～4組
昭和35年 1～5組
昭和36年 1～5組
昭和37年 1～5組
昭和38年 1～5組
昭和39年 1～5組
昭和41年 1～6組
昭和42年 1・3・4・6組
昭和43年 1～6組
昭和44年 1～6組
昭和45年 1・2・3・5・6組
昭和46年 1～6組
西高 昭和47年 1～6組
昭和48年 1～6組
昭和49年 1・2・3・6組
昭和50年 3・6組
昭和55年 1～6組
昭和56年 1～6組
昭和57年 1・2組
昭和58年 1～5組
昭和59年 1組
昭和60年 1～6組
昭和61年 4組
昭和62年 1～7組
昭和63年 1～7組
平成元年 1～7組
平成2年 1～7組
平成3年 1～7組
- ◎平成23年度分で平成23年3月31日までに前納されたもの
南高 昭和29年 2・3・4組
西高 昭和33年 1～4組
昭和45年 4組
昭和49年 4・5組
西高 昭和50年 5組
昭和58年 6組
平成4～23年 全クラス

- 大石(佐藤)弘子 (昭29南高)
- 五十嵐(武田)テル子 (昭18女師)
- 工藤(樋渡)和子 (昭20高女)
- 伊藤(伊藤)麻子 (昭9高女)
- 石井(西山)雅子 (昭30西高)
- 青木(片山)達江 (昭31西高)
- 赤間(渡辺)三喜子 (昭26南高)
- 加藤(鈴木)妙子 (昭16女師)
- 進藤(富沢)或女 (昭20高女)
- 高田(佐竹)マサ (昭20高女)
- 庄司(佐藤)愛 (昭9高女)
- 佐藤(今野)ミツ (昭19高女)
- 新関(新関)武子 (昭4高女)
- 佐藤(兼子)順子 (昭12西高)
- 岡田(朝一)久子 (昭5高女)
- 松田(宗片)とし子 (昭16女師)
- 山田(山田)敏子 (昭5高女)
- 東海林(穂子) (昭16高女)
- 飯野(鈴木)百合子 (昭6本二)
- 渡邊(栗原)敦子 (昭28西高)
- 古澤(堤)勝子 (昭37西高)
- 丹羽(丹羽)文子 (昭27南高)
- 音山(大築)志満子 (昭27南高)
- 伊藤(伊藤)ちよし (昭18女師)
- 佐藤(順子) (昭18高女)
- 内山(佐藤)尚美 (昭55西高)
- 吉田(塚崎)正子 (昭29南高)
- 斎藤(村山)ヨシエ (昭11高女)
- 細谷(今田)なつ (昭5本一)
- 佐島(林)もとよ (昭11高女)
- 赤木(船越)英子 (昭22西高)
- 来生(大沼)寛子 (昭22高女)
- 石岡(荒井)トシ (昭20高女)
- 飯野(田中)佐紀子 (昭20高女)
- 佐竹(佐藤)緋佐子 (昭31西高)
- 上沼(佐藤)保枝 (昭46西高)
- 阿部(阿部)保枝 (昭15高女)
- 鷺尾(鷺尾)文子 (昭21高女)
- 石川(永山)ヤイ (昭20高女)
- 細野(紀江)上野 (昭36西高)
- 佐藤(佐藤)千恵 (昭19高女)
- 本間(本間)英子 (昭13高女)
- 久合(峯田)よしこ (昭13高女)
- 山口(清水)登代子 (昭35西高)
- 加藤(田中)淳子 (昭46西高)
- 齋藤(後藤)みち子 (昭48西高)
- 渡部(康夫) (旧職員)

〓冥福と
お祈り申し上げます

- 会報編集委員(評議員)
- 長岡 玲子
 - 小松 節子
 - 奥山 潤子
 - 神保 由美子
 - 武田 靖子
- 会報担当校内理事
- 小池 郁子
 - 柴田 有希絵
 - 富田 智子
 - 青木 孝子
 - 中木 裕美子
 - 古瀬 智子

編集後記

何年新聞作りのお手伝いしたことでしょうか。先輩後輩のご活躍と歴史の重みに感じながらの編集は楽しいひとときでした。このへんで編集のペンを後輩へバトンタッチします。なお充実した紙面になることを期待しつつ。

(昭和36年卒 長岡 玲子)



同窓会報編集委員

同窓会報へ～
お便りお待ちしております

宛先 / 〒990-2492
山形市鉄砲町1-15-64 山形西高校内
嚶鳴同窓会報編集室「同窓生からのお便り」係

お願い / 卒業年度、住所、電話番号をご記入の上
お送りください。

問合せ / TEL 023(641)3504 FAX 023(641)3516
山形西高校内 同窓会報担当まで

学校ホームページ / <http://yamanishi.webpage21a.jp/>



平成23年度 嚶鳴同窓会基本金決算

1 収入の部

(単位：円)

1. 前年度繰越金	13,442,044
2. 総会ご芳志	695,000
3. 総会残金	26,029
4. 震災募金 (同窓会総会時)	201,027
5. パッチ立替分 (23年度分)	80,000
6. 定期預金利息	2,571
7. 普通預金利息	959
合計	14,447,630

(内、定期預金 7,400,000)

2 支出の部

(単位：円)

1. 24年度総会補助 (振込手数料含む)	300,525
2. 総会経費 (写真代・役員会)	189,260
3. 賀寿記念品代	367,500
4. 震災義援金	501,027
5. パッチ代	399,000
6. 勤続10年表彰記念品	90,000
合計	1,847,312

3 差引残高 14,447,630円 - 1,847,312円 = 12,600,318円
 定期預金 7,400,000円
 普通預金 5,200,318円

平成23年度 経常費決算

1 収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減 (△)	摘 要
入会費	699,000	699,000	0	3,000円×233人 (平成22年度卒業生分)
会費	1,199,000	1,199,000	0	699,000円(3,000円×233人:会費20年分)+500,000円(維持会費より毎年繰り入れ分)
繰越金	207,159	207,159	0	22年度残金
雑収入	41	92	51	預金利子
計	2,105,200	2,105,251	51	

2 支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減 (△)	摘 要
総会費	820,000	820,000	0	総会、東京支部総会
会議費	190,000	194,909	△4,909	評議員会、クラス幹事会など
後援費	70,000	6,000	64,000	会員後援など
記念品費	75,000	80,000	△5,000	新入会員の記念品費
印刷発行費	310,000	299,250	10,750	会報印刷、封筒印刷
事務費	8,000	6,300	1,700	事務用品など
通信費	110,000	60,605	49,395	連絡通信用葉書、切手など
慶弔費	90,000	68,453	21,547	会員慶弔費など
交通費	260,000	250,360	9,640	三役交通費など
諸費	170,000	147,492	22,508	入会式経費、全国大会出場費別など
予備費	2,200	0	2,200	
計	2,105,200	1,933,369	171,831	

3 差引残高

(総収入) 2,105,251円 - (総支出) 1,933,369円 = (残高) 171,882円

平成24年度 経常費予算

1 収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減 (△)	摘 要
入会費	690,000	699,000	△9,000	3,000円×230人 (平成23年度卒業生分)
会費	1,190,000	1,199,000	△9,000	690,000円(3,000円×230人:会費20年分)+500,000円(維持会費より毎年繰り入れ分)
繰越金	171,882	207,159	△35,277	23年度残金
雑収入	18	41	△23	預金利子
計	2,051,900	2,105,200	△53,300	

2 支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減 (△)	摘 要
総会費	790,000	820,000	△30,000	総会、東京・寒河江支部総会
会議費	200,000	190,000	10,000	評議員会、クラス幹事会など
後援費	60,000	70,000	△10,000	会員後援など
記念品費	80,000	75,000	5,000	新入会員の記念品費
印刷発行費	310,000	310,000	0	会報印刷、封筒印刷
事務費	8,000	8,000	0	事務用品など
通信費	100,000	110,000	△10,000	連絡通信用葉書、切手など
慶弔費	90,000	90,000	0	会員慶弔費など
交通費	260,000	260,000	0	三役交通費など
諸費	150,000	170,000	△20,000	入会式経費、全国大会出場費別など
予備費	3,900	2,200	1,700	
計	2,051,900	2,105,200	△53,300	